

**ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問
(期間：平成24年1月19日～平成24年2月1日)**

原子力発電所における下請け作業員等の管理について

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 公務員

○都道府県名 : 埼玉県

○ご意見の内容:

福岡原発での発災初期において、作業を行った作業員の所在がつかめず、被ばく量検査ができないとの報道があり、昨年末の報道では、元請けである東電が、下請け作業員の雇用形態を、下請け会社と個人との契約問題として関知していないとの事であった。

以上の事から、元請けである東電は、下請け作業員の出自を全く管理していないということが判断できる。

核物質を扱う施設、特に原子力発電所という場所は、国際的に見ても強固な保安体制がとられているのが普通であり、内部で働く労働者に関しても、正社員/派遣を問わず、その出自、交友関係、他国人との関連を調査したうえで、作業に従事させる事が妥当であると思われる。

報道が正しいとすると、東電は原発内に出自不明な人間を入れている事ということなるため、テロ行為が行い易く、保安体制が脆弱であると言わざるを得ない。

また、国の機関においても、原発のメカニカル的な安全性を審査・指導する機関はあっても、保安体制を指導する機関が存在しないことは問題であり、早急に整備する必要があると考える。

いけんちょうしゅうかいぼちょうについて

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 女性

○職 業 : その他

○都道府県名:福岡県

○ご意見の内容:

いけんちょうしゅうかいってっぱんのひともモニターじゃなくおなじところで
ぼうちょうできるようにしてください。げんばつさいかどうこくみんてきぎろ
んするといわれましたけどこくみんてきぎろんなんてしてないとおもいま
す。げんばつさいかどうもにほんぜんこくのこくみにきかずいちぶのひ
としかきかないでげんばつさいかどうははんたいです。

福島原発に対して十分な調査と報告を

○年 齢 : 61歳～65歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

重要事件から学び、再び起こらないようにするためには、十分な原因調査とその報告が不可欠です。とくに原発事故は2度と起こしてはならないこと。調査で原因と現状から将来までをクリアにして、きちんと報告してくださるよう望みます。お願いいたします。

放射線汚染行政に対して日本国民が政権交代しても日本政府を信用できない理由

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名: 愛知県

○ご意見の内容:

残留放射線の被害が有るのに広島・長崎の入市被爆者や残留被爆者の被爆者認定していない事、第五福竜丸事件当時に約2万人が被爆しているのに被爆者と認定していない事を日本国民は知っているのに、国民自身が放射線汚染による外部被曝や内部被曝しても被曝を認められず補償も医療費も国が支払ってくれない可能性がある。

東京は空気による放射線汚染の可能性は低いですが、花粉、河川の水、河川の農業水による農作物、河川の水が東京湾に流れて魚汚染、外海でも福島原発沖の海水の滞留で魚などの放射線汚染が科学者によって証明されているので、東京に住む政治家も官僚も、被曝は福島県のみと考えずに自分の事として放射線汚染行政で将来の被曝認定補償を視野に入れた対応をして下さい。

日本政府は日本国民の信用を取り戻す為に、過去の冷戦による政治的判断で核爆発直後の限定的放射線被爆しか被害が無いとした被爆者認定を、現在の科学的判断で残留放射線による被曝が有るとした被爆者認定に改め、広島・長崎、第五福竜丸事件の未認定被爆者を認定して、福島原発事故の放射線被曝の被害者が将来に渡り補償され医療費も自費でない事を法律化にして下さい。